

鹿屋商工会議所

第2期 経営発達支援計画に係る事業実施及び評価について (事業期間 令和4年4月～令和9年3月)

■実施事業について

令和6年度 事業実施内容

◇地域経済動向調査の実施

(1) 主な調査

- i. 大型連休期間中の景況調査
- ii. お盆を含む夏休み期間における景況調査
- iii. 早期景気観測 (LOB0 調査)
- iv. エアーマモリアル in かのや 2024 アンケート調査

(2) 調査内容

- i. 大型連休期間中の景況について、令和6年5月に、鹿屋市内の40事業者に対し、電話・巡回による聞き取り調査を実施。
- ii. 中元商戦（主にお盆期間中）の景況について、令和5年9月に、鹿屋市内の50事業者に対し、電話・巡回による聞き取り調査を実施。
- iii. 当所管内5事業所に対して、毎月1回、売上・採算・仕入単価・従業員数・業況・資金繰り等について、ヒアリングシートに基づき、アンケート方式による調査を実施。（LOB0 調査として、全国325商議所にて実施）
- iv. エアーマモリアル in かのや 2024 会場内にて、来場者が自身のスマートフォン等でアンケートサイトのQRコードを読み取り、WEB上でアンケートに回答する方法にて調査を実施。経済効果等の分析を行った。

(3) 調査結果

調査結果については、巡回・窓口相談等時に事業者の方々へ直接フィードバックするとともに、当所会報へ掲載する形で、結果報告を行い、地域事業者の経営状況を把握し、支援施策の案内等に反映させるなど、経営支援に活用している。

◇経営支援基幹システム「BIZ ミル」の活用[継続]

(1) 概要

経営コンサルティング会社の支援ノウハウと、クラウド顧客管理システムを融合し、経営支援の「見える化」と「共有化」を図るもの。事業所ごとの課題や支援内容をクラウド上に蓄積し、継続的な伴走型支援を行う。

(2) 運用状況

管内小規模事業者等の基礎データや支援状況について、システム上へ反映。支援状況等を職員間で共有できる状態となっており、経営支援の基礎資料として活用している。

また、事業計画策定事業所や当所決算代行事業者を中心に、BIZ ミルの調査シートを活用したアンケートを実施（調査内容：経営状況・経営課題・事業

承継・事業計画の作成状況等)。得られた情報をもとに、当該システムより出力した「経営状況分析表」を 50 事業者を提供。

◇商談力向上セミナーの開催

展示会・商談会での出展効果を最大化するためには、強い目的意識と入念な準備が必要であり、展示商談会の活用ポイントと出展を成功させるためのセミナーを実施した。

- i. セミナー名：展示会・商談会魅力アップセミナー
- ii. 日 時：令和 6 年 6 月 19 日（火） 14:00 ～ 16:00
- iii. 場 所：鹿屋商工会議所 研修室
- iv. 講 師：(株)エイチ・エーエル 林 由希恵 氏
- v. 参加者数：セミナー：3 名（3 事業所）※小規模事業者のみ

◇経営分析セミナーの開催〔1 回目〕

会社のお金の流れをブロックパズルに見立てることで、視覚的に現状を把握し、利益を倍増させるための対策や、お金のブロックパズルの活用方法について、順を追って把握するためのセミナーを実施した。

- i. セミナー名：お金のブロックパズルでつくる利益倍増戦略
- ii. 日 時：令和 6 年 8 月 21 日（水） 15:00 ～ 17:00
- iii. 場 所：鹿屋商工会議所 研修室
- iv. 講 師：明快マネジメント研究所 代表 二木 宏造 氏
- v. 参加者数：セミナー：5 名（5 事業所）※小規模事業者のみ

◇事業計画策定支援セミナーの開催〔1 回目〕

販路開拓・販売拡大に活用できる、小規模事業者持続化補助金に的を絞り、そもそも補助金とは何か？というところから、事業計画書や経営計画書の組み立て方について、事業計画の構成に沿ってそれぞれのポイントを分かりやすく説明するセミナーを実施した。

- i. セミナー名：ビジネスを劇的に加速させる持続化補助金の採択必勝法
- ii. 日 時：令和 6 年 9 月 5 日（木） 13:30 ～ 15:30
- iii. 場 所：鹿屋商工会議所 研修室
- iv. 講 師：オフィス SPIRITS 代表 原 幸彦 氏（中小企業診断士）
- v. 参加者数：セミナー：2 名（2 事業所）※小規模事業者のみ

◇DXセミナーの開催

本セミナーでは、DXの必要性や、デジタル活用のメリット・デメリット、中小企業におけるDX事例を交えながら、企業でのDX化を進めるために、現状把握や問題特定、課題設定をする必要があることを学ぶセミナーを実施した。

- i. セミナー名：DXセミナー：地域企業が実践するDXの基本の「キ」
- ii. 日 時：令和 6 年 10 月 2 日（水） 13:00 ～ 14:00〔セミナー〕
14:00 ～ 16:00〔個別相談会〕

- iii. 場 所：鹿屋商工会議所 研修室
- iv. 講 師：T O T O N O I 代表 石橋 俊介 氏
- v. 参 加 者 数：セミナー：4 名（4 事業所）／個別相談：2 名（2 事業所）
※小規模事業者のみ

◇事業計画策定支援セミナーの開催〔2 回目〕

販路開拓・販売拡大に活用できる、小規模事業者持続化補助金の獲得を目指すにあたって、事業者側にて作成が必要とされる事業計画書や経営計画書について、話題の AI 機能である、ChatGPT を上手に利活用して、作成する方法を学ぶセミナーを実施した。

- i. セミナー名：補助金申請、融資申込時に役立つ事業計画作成セミナー
- ii. 日 時：令和 6 年 11 月 19 日（火） 13:30 ～ 15:30
- iii. 場 所：鹿屋商工会議所 研修室
- iv. 講 師：経営デザインコンサルティングオフィス
代表 川居 宗則 氏（中小企業診断士）
- v. 参 加 者 数：セミナー：1 名（1 事業所）※小規模事業者のみ

◇経営分析セミナーの開催〔2 回目〕

原材料や物価高騰が進む中で、事業所における価格転嫁の現状や、自社の経営状態を視覚的に把握する方法、利益を増やすための分析方法などについて学ぶセミナーを実施した。

- i. セミナー名：物価高騰を乗り越える！経営分析セミナー
- ii. 日 時：令和 6 年 12 月 11 日（水） 13:30 ～ 15:30
- iii. 場 所：鹿屋商工会議所 研修室
- iv. 講 師：(株)ソウルスウェットカンパニー 代表取締役 仲光 和之 氏
- v. 参 加 者 数：セミナー：4 名（4 事業所）※小規模事業者のみ

◇展示会・商談会出展支援事業

※ 第 17 回アグリフード EXPO 東京 2024 への出展（展示商談会）

地元産品を活用した“こだわり”食品を製造する食品メーカーや魅力ある農産物づくりに取り組んでいる農業経営者などの事業拡大に直結するビジネスマッチングの場を提供する「国産」にこだわった展示商談会への出展支援を行った。

- i. 日 程：令和 6 年 8 月 21 日（水）～ 22 日（木）
- ii. 場 所：東京ビッグサイト（東京都江東区有明 3-11-1）
- iii. 出展者数：4 事業者（うち小規模事業者 4 者） ※全体 588 社
- iv. 来場者数：228 社（当所ブース・2 日間合計） ※全体 12,031 名
- v. 商談数等：商談件数 15 件（うち成約商談 7 件）

※ 鹿児島県商工会議所連合会アンテナショップ「かごしま屋」への出店

鹿児島県商工会議所連合会が、県下会員事業所の商品販売チャネルの拡大を通じて地元事業者の売上および販路拡大、ひいては本県の地域活性化に繋げるた

め、再開発が加速する大阪梅田の KITTE 大阪にアンテナショップを出店し、当所においても本事業に参画し、管内出店事業者の支援を行った。

- i. 開 業 日：令和 6 年 7 月 31 日（水）11：00
- ii. 場 所：KITTE 大阪（大阪市北区梅田 3-2-2 KITTE 大阪 2F-220 区画）
- iii. 出店者数：10 事業者（うち小規模事業者 8 者／令和 7 年 3 月末時点）
- iv. 販売実績：7,388,045 円〔開業日～令和 7 年 3 月末〕
（うち小規模事業者分 5,838,554 円）

※ 令和 6 年度アグリ・フードマッチング個別商談会

当所管内の食品関連事業者の販路拡大・販売促進を支援するため、県内外の流通大手のバイヤー及び食品関連バイヤーを招聘し、商取引を目的とした個別商談会を開催し、参加企業の更なる販路拡大・販売促進を支援。

- i. 日 時：令和 7 年 2 月 6 日（木） 9：30 ～ 13：55
- ii. 開催場所：鹿屋商工会議所 会議室
- iii. 売手企業：5 社（うち小規模事業者 5 者）
- iv. バイヤー：県内…(株)山形屋
県外…(株)井筒屋商事(福岡県)・(株)三越伊勢丹(東京都) 計 3 社
- v. 商談数等：商談件数 18 件（延べ件数／うち成約商談 7 件）

◇補助金申請支援（事業計画策定支援）

○小規模事業者持続化補助金

申請件数 3 件 採択件数 1 件（採択率 33.3%）

令和 6 年度 事業総括

新型コロナの影響を受けず、事業者としては、これから通常の事業活動を目指す中で、原材料価格や物価高騰、そして人件費の上昇といった、新たな事業を取り巻く問題が浮上してきた。そのような中、継続的に経営状況の調査分析を実施している事業所においては、前年度比較で売上または粗利益増加率 2%以上を達成した事業所が、前年の 2 件から 8 倍の 16 件に増加したデータも出ており、厳しい経営環境の中、経営努力により増収増益に結び付けられている事業所が増加したのは良い傾向であった。

なお、補助金の申請をきっかけとした、事業計画の策定支援については、鹿屋市の支援事業が、当該年度は未実施だったことに加え、国の再構築補助金事業の終了、小規模事業者持続化補助金事業の公募が年 1 回（通常のスキームだと年 3～4 回の公募）に留まったことから、事業計画・経営計画の策定支援件数は、大幅に減少した。

また、需要開拓支援事業については、令和 6 年 7 月に大阪市内の商業ビル内に開設された「かごしま屋」への出店支援を新たに開始し、今後 5 年間開設予定との事であることから、新規出店事業者の募集に加え、継続して支援を行っていく。

令和5年度 事業実施内容

◇地域経済動向調査の実施

(1) 主な調査

- i. 大型連休期間中の景況調査
- ii. 中元商戦（お盆）における景況調査
- iii. 原油価格・物価高騰に係る影響調査（1回目）
- iv. 原油価格・物価高騰に係る影響調査（2回目）
- v. 早期景気観測（LOB0調査）
- vi. エアーマモリアル in かのや 2023 アンケート調査

(2) 調査内容

- i. 大型連休期間中の景況について、令和5年5月に、鹿屋市内の49事業者へ対し、電話・巡回による聞き取り調査を実施。
- ii. 中元商戦（主にお盆期間中）の景況について、令和5年9月に、鹿屋市内の50事業者に対し、電話・巡回による聞き取り調査を実施。
- iii. 原油価格や物価高騰による影響や価格転嫁の実施状況等について、令和5年6月に、鹿屋市内の20事業者に対し、電話・巡回による聞き取り調査を実施。
- iv. 原油価格や物価高騰による影響や価格転嫁の実施状況等について、令和5年11月に、鹿屋市内の20事業者に対し、電話・巡回による聞き取り調査を実施。
- v. 当所管内5事業所に対して、毎月1回、売上・採算・仕入単価・従業員数・業況・資金繰り等について、ヒアリングシートに基づき、アンケート方式による調査を実施。（LOB0調査として、全国325商議所にて実施）
- vi. エアーマモリアル in かのや 2023 会場内にて、午前と午後の2回に分けて、計500名に対し、アンケート調査を実施。開催による経済効果等の分析を行った。

(3) 調査結果

調査結果については、巡回・窓口相談等時に事業者の方々へ直接フィードバックするとともに、当所会報へ掲載する形で、結果報告を行い、地域事業者の経営状況を把握し、支援施策の案内等に反映させるなど、経営支援に活用している。

◇経営支援基幹システム「BIZ ミル」の活用[継続]

(1) 概要

経営コンサルティング会社の支援ノウハウと、クラウド顧客管理システムを融合し、経営支援の「見える化」と「共有化」を図るもの。事業所ごとの課題や支援内容をクラウド上に蓄積し、継続的な伴走型支援を行う。

(2) 運用状況

管内小規模事業者等の基礎データや支援状況について、システム上へ反映。支援状況等を職員間で共有できる状態となっており、経営支援の基礎資料として活用している。

また、事業計画策定事業所や当所決算代行事業者を中心に、BIZ ミルの調査

シートを活用したアンケートを実施（調査内容：経営状況・経営課題・事業承継・事業計画の作成状況等）。得られた情報をもとに、当該システムより出力した「経営状況分析表」を42事業者に提供。

◇DXセミナーの開催

これまで集客におけるメイン媒体であったチラシに変わり、近年普及しつつあるInstagramを活用して、集客に結びつける手法や、データ分析を学び、ITツールを駆使したセミナーを実施した。

- i. セミナー名：集客で結果が出るinstagramネタ帳とは？
- ii. 日 時：令和5年6月20日（火） 10:30 ～ 12:00〔セミナー午前の部〕
13:30 ～ 15:00〔セミナー午後の部〕
- iii. 場 所：鹿屋商工会議所 研修室
- iv. 講 師：鹿児島県よろず支援拠点 坪山 幸 氏／江藤 裕一 氏
- v. 参加者数：（午前の部）セミナー：7名（6事業所）※小規模事業所のみ
（午後の部）セミナー：1名（1事業所）※小規模事業所のみ

◇経営分析セミナーの開催

経営・財務の初心者でも理解できる決算書の重要性を学び、自社の財務状況がわからない！」「決算書の見方をもう一度勉強したい！」「資金繰りを安定させたい！」などの疑問に対し、決算書や財務諸表のイロハを学び、会社・事業者自身の健康状態を把握するためのセミナーを実施した。

- i. セミナー名：中小企業のための健康診断セミナー
- ii. 日 時：令和5年9月5日（火） 14:00 ～ 16:00
- iii. 場 所：鹿屋商工会議所 研修室
- iv. 講 師：財務リスク研究所(株) 代表取締役 横山 悟一 氏
- v. 参加者数：セミナー：3名（3事業所）※小規模事業者のみ

◇事業計画策定支援セミナーの開催〔1回目〕

SWOT分析を学び、マーケティング戦略立案における環境分析の段階で、現在の課題点、将来起こるかもしれない問題など、漠然とした状況や問題を整理し、事業計画の策定に活かすためのセミナーを実施した。

- i. セミナー名：“強み”再発見！SWOT分析活用セミナー
- ii. 日 時：令和5年10月5日（木） 14:00 ～ 16:00
- iii. 場 所：鹿屋商工会議所 研修室
- iv. 講 師：橋本 泉 氏（中小企業診断士／販売士検定1級）
- v. 参加者数：セミナー：3名（3事業所）※小規模事業者のみ

◇事業計画策定支援セミナーの開催〔2回目〕

中小企業にとって長く続いた新型コロナウイルスの影響に加え、原材料やエネルギー価格が上昇して厳しい経済環境が続く中、今後の販路拡大・販路開拓に利用する補助金の説明や補助金申請時に必要となる事業計画書・経営計画書の作り方等についてのセミナーを実施した。

- i. セミナー名：補助金活用と事業計画作成のポイントセミナー
- ii. 日 時：令和5年10月19日（木） 14:00 ～ 16:00
- iii. 場 所：鹿屋商工会議所 研修室
- iv. 講 師：ミチタス(株) 代表取締役 中本 美智子 氏（中小企業診断士）
- v. 参 加 者 数：セミナー：3名（3事業所）※小規模事業者のみ

◇商談力向上セミナーの開催

接客や商談において、短い言葉でお客様の興味を引いたり、お客様から YES をいただき、本筋に移行できるアプローチ・トークの大切さ、そして、より効果的な手法を使って、接客や商談へ対応するためのセミナーを実施した。

- i. セミナー名：商談力向上セミナー及び個別相談会
- ii. 日 時：令和5年11月28日（火） 14:00 ～ 16:00
- iii. 場 所：鹿屋商工会議所 研修室
- iv. 講 師：(株)シャベリーズ 代表取締役 丸山 久美子 氏
- v. 参 加 者 数：セミナー：3名（3事業所）※小規模事業者のみ

◇展示会・商談会等出展事業

※ 第16回アグリフード EXPO 東京 2023 への出展（展示商談会）

地元産品を活用した“こだわり”食品を製造する食品メーカーや魅力ある農産物づくりに取り組んでいる、農業経営者などの事業拡大に直結するビジネスマッチングの場を提供する「国産」にこだわった展示商談会への出展支援を行った。

- i. 日 程：令和5年8月23日（水）～ 24日（木）
- ii. 場 所：東京ビッグサイト（東京都江東区有明 3-11-1）
- iii. 出展者数：4事業者（うち小規模事業者4者） ※全体 465 社
- iv. 来場者数：224 社（当所ブース・2日間合計） ※全体 8,889 名
- v. 商談数等：商談件数 67 件（うち成約商談 10 件）

※ 鹿児島県商工会議所連合会主催「商工会議所ふるさと物産展」への出店
鹿児島県商工会議所連合会が、販路開拓や売上拡大を目指す事業者を支援する目的で、県内各地域の魅力あふれる逸品を、鹿児島市の中心市街地にて期間限定で販売する物産展事業に参画し、管内出店事業者の支援を行った。

- i. 日 程：令和5年10月27日（金）～ 12月3日（日） 11:00～20:00
- ii. 場 所：天文館リパティハウス 2階岩崎屋（鹿児島市千日町 15-15）
- iii. 出店者数：8事業者（うち小規模事業者5者）※すべて商品預かり
- iv. 販売数量：28点（期間合計・うち小規模事業者分 16点）
- v. 販売実績：312,781 円（期間合計・うち小規模事業者分 157,167 円）

※ 令和5年度アグリ・フードマッチング個別商談会

当所管内の食品関連事業者の販路拡大・販売促進を支援するため、県内外の流通大手のバイヤー及び食品関連バイヤーを招聘し、商取引を目的とした個別商談会を開催し、参加企業の更なる販路拡大・販売促進を支援。

- i. 日 時：令和6年2月15日（木）9：30 ～ 15：30
- ii. 場 所：鹿屋商工会議所 会議室
- iii. 売手企業：5社（うち小規模事業者5者）
- iv. バイヤー：県内…(株)山形屋
県外…(株)阪急阪神百貨店(大阪府)・(株)まるおか(群馬県) 計3社
- v. 商談数等：商談件数15件（延べ件数／うち成約商談3件）

◇補助金申請支援（事業計画策定支援）

- 小規模事業者持続化補助金〔国〕
申請件数10件 採択件数 4件（採択率 40.0%）
→採択者すべて小規模事業者
- 事業再構築補助金〔国〕
申請件数 1件 採択件数 1件（採択率 100.0%）
→採択者すべて小規模事業者
- 鹿屋市新商品開発等設備導入支援事業〔鹿屋市〕
申請件数38件 採択件数27件（採択率 71.0%）
→採択件数27件のうち、小規模事業者21件

令和5年度 事業総括

令和5年度については、同年5月に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が「2類」から「5類」への引下げが行われた事により、令和元年度以来、4年ぶりに、計画に沿った事業を遂行する事ができた。

需要開拓支援事業としては、4年ぶりに首都圏（県外）にて行われた展示商談会〔アグリフード EXPO 東京〕への共同出展や、県内外よりバイヤーを招いての当所主催の個別商談会を開催することができ、コロナ禍以降、疎遠となっていたバイヤーと出展者の接点を再び結びつける機会を提供できた。

また、前年度に引き続き、鹿屋市においては、コロナ後の事業所の新商品・新サービス開発の設備導入を支援する目的で、「鹿屋市新商品開発等設備導入支援事業（補助金）」が開始。管内小規模事業者21社が採択を受け、事業計画・経営計画の策定支援を行った。

令和4年度 事業実施内容

◇地域経済動向調査の実施

(1) 主な調査

- i. 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う影響調査（1回目）
- ii. 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う影響調査（2回目）
- iii. 早期景気観測（LOB0調査）

(2) 調査内容

- i. 新型コロナウイルス感染症の影響について、令和4年4月に、鹿屋市内の32事業者に対し、電話・巡回による聞き取り調査を実施。
- ii. 新型コロナウイルス感染症の影響について、令和4年11月に、鹿屋市内の11事業者に対し、電話・巡回による聞き取り調査を実施。
- iii. 当所管内5事業所に対して、毎月1回、売上・採算・仕入単価・従業員数・業況・資金繰り等について、ヒアリングシートに基づき、アンケート方式による調査を実施。（LOB0調査として全国325商議所にて実施）

(3) 調査結果

調査結果については、巡回・窓口相談等時に事業者の方々へ直接フィードバックするとともに、当所会報へ掲載する形で、結果報告を行い、地域事業者の経営状況を把握し、支援施策の案内等に反映させるなど、経営支援に活用している。

◇経営支援基幹システム「BIZミル」の活用〔継続〕

(1) 概要

経営コンサルティング会社の支援ノウハウと、クラウド顧客管理システムを融合し、経営支援の「見える化」と「共有化」を図るもの。事業所ごとの課題や支援内容をクラウド上に蓄積し、継続的な伴走型支援を行う。

(2) 運用状況

管内小規模事業者等の基礎データや支援状況について、システム上へ反映。支援状況等を職員間で共有できる状態となっており、経営支援の基礎資料として活用している。

また、事業計画策定事業所や当所決算代行事業者を中心に、BIZミルの調査シートを活用したアンケートを実施（調査内容：経営状況・経営課題・事業承継・事業計画の作成状況等）。得られた情報をもとに、当該システムより出力した「経営状況分析表」を39事業者を提供。

◇事業計画策定セミナー及び個別相談会の開催

自社の過去3年間の財務情報を入力するとともに、5年後の目標分配率を設定、ワークシートを作成した。企業目標をヒト・モノ・カネに分類し、理想の経営を行うために、企業としてどの程度、資源の蓄積が必要かを学び、事業計画へ落とし込むための手法等に係るセミナーおよび個別相談会を実施した。

- i. セミナー名：事業計画策定セミナー及び個別相談会
- ii. 日 時：令和4年12月15日（木）13:30 ～ 16:30〔セミナー〕
16:30 ～ 17:30〔個別相談会〕
- iii. 場 所：鹿屋商工会議所 研修室

- iv. 講 師：(株)エイチ・エーエル 池田 孝行 氏
(1級ファイナンシャルプランニング技能士)
- v. 参加者数：セミナー：8名(6事業所)／個別相談：1名(1事業所)
- i. セミナー名：事業計画策定セミナー及び個別相談会
- ii. 日 時：令和5年1月31日(火) 13:30 ～ 16:30〔セミナー〕
16:30 ～ 17:30〔個別相談会〕
- iii. 場 所：鹿屋商工会議所 研修室
- iv. 講 師：(株)エイチ・エーエル 二宮 佳代 氏(中小企業診断士)
- v. 参加者数：セミナー：3名(3事業所)／個別相談：2名(1事業所)

◇経営分析セミナー、個別相談会の開催

自社の「強み」・「弱み」・「商品」・「サービス」・「機会」等、経営上の分析を通して、自社の課題を洗い出し、理想とのギャップを埋めるために、ビジネスモデルをどのように構築すれば良いのかを学び、事業計画へ落とし込むための手法等に係るセミナーおよび個別相談会を実施した。

- i. セミナー名：経営分析セミナー及び個別相談会
- ii. 日 時：令和4年12月14日(水) 13:30 ～ 16:30〔セミナー〕
16:30 ～ 17:30〔個別相談会〕
- iii. 場 所：鹿屋商工会議所 研修室
- iv. 講 師：(株)エイチ・エーエル 池田 孝行 氏
(1級ファイナンシャルプランニング技能士)
- v. 参加者数：セミナー：6名(5事業所)／個別相談：2名(2事業所)
- i. セミナー名：経営分析セミナー及び個別相談会
- ii. 日 時：令和5年1月30日(月) 13:30 ～ 16:30〔セミナー〕
// 16:30 ～ 17:30〔個別相談会〕
- iii. 場 所：鹿屋商工会議所 研修室
- iv. 講 師：(株)エイチ・エーエル 二宮 佳代 氏(中小企業診断士)
- v. 参加者数：セミナー：3名(3事業所)／個別相談：2名(2事業所)

◇DXセミナー、個別相談会の開催

SNSの知識習得から始まり、接客業をはじめとした企業活動に非常に有効なツールであることを説明。またSNSの媒体で有名なTwitter、Instagram、Facebook、LINE以外に今後も新たな媒体が出てくることが予想でき、自社としてどの媒体を選択するのか検討の必要性を説明した。

- i. セミナー名：初心者のためのSNS活用セミナー及び個別相談会
- ii. 日 時：令和5年1月19日(木) 13:30 ～ 16:30〔セミナー〕
// 16:30 ～ 17:30〔個別相談会〕
- iii. 場 所：鹿屋商工会議所 研修室
- iv. 講 師：(株)エイチ・エーエル 築間 彰 氏(中小企業診断士)
- v. 参加者数：セミナー：22名(21事業所)／個別相談：5名(3事業所)

◇商談力向上セミナー、個別相談会の開催

商談力向上のため、売れる仕組みを作るポイントを説明。仕組みの構築には見込み客を増やすことが必要であり、見込み客を増加させるためには、認知よりさらに進んだ顧客との信頼関係の構築が必要であると説明。

- i. セミナー名：商談力向上セミナー及び個別相談会
- ii. 日 時：令和 5 年 1 月 26 日（木） 13:30 ～ 16:30〔セミナー〕
16:30 ～ 17:30〔個別相談会〕
- iii. 場 所：鹿屋商工会議所 研修室
- iv. 講 師：(株)エイチ・エーエル 牛木 章太 氏（ソーシャル・アライアンス(株)認定トレーナー）
- v. 参加者数：セミナー：8 名（7 事業所）／個別相談：2 名（1 事業所）

◇展示会・商談会等出展事業

→鹿児島県商工会議所連合会主催「商工会議所ふるさと物産展」への出店
鹿児島県商工会議所連合会が、コロナ禍の状況下にありつつも、販路開拓や売上拡大を目指す事業者を支援する目的で、県内各地域の魅力あふれる逸品を、鹿児島市の中心市街地にて期間限定で販売する物産展事業に参画し、管内出店事業者の支援を行った。

- i. 日 程：令和 5 年 1 月 13 日（金）～ 2 月 19 日（日）11:00～20:00
- ii. 場 所：天文館リバティハウス 2 階岩崎屋（鹿児島市千日町 15-15）
- iii. 出店者数：10 事業者（うち小規模事業者 8 社）※すべて商品預かり
- iv. 販売数量：49 点（期間合計・うち小規模事業者分 41 点）
- v. 販売実績：184,557 円（期間合計・うち小規模事業者分 146,013 円）

◇補助金申請支援（事業計画策定支援）

○小規模事業者持続化補助金〔国〕

申請件数 4 件 採択件数 3 件（採択率 75.0%）
→採択者すべて小規模事業者

○事業再構築補助金〔国〕

申請件数 8 件 採択件数 3 件（採択率 37.5%）
→採択者すべて小規模事業者

○鹿屋市中小企業経営効率化支援金〔鹿屋市〕

申請件数 86 件 採択件数 84 件（採択率 97.6%）
→採択件数 84 件のうち、小規模事業者 62 件

※「第 15 回アグリフード EXP0 東京 2022」への出展、並びに、当所主催の「令和 4 年度アグリ・フードマッチング個別商談会」については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、事業を取り止めた。

令和 4 年度分 事業総括

令和 4 年度については、これまでの平成 29 年 4 月～令和 4 年 3 月の 5 ヶ年の第 4 回認定分の経営発達支援計画に代わり、新たに認定を受けた、令和 4 年 4 月～令和 9 年 3 月の 5 ヶ年の第 9 回認定分の新たな計画の元、事業を進める事となった。

新たに、講習会事業として、DX セミナーの開催を盛り込み、事業者の生産性向上とデジタル革新に向けて側面から支援を行った。

その一方で、新型コロナウイルス感染症が感染症法上の分類が、「2 類感染症」としての指定が継続され、県外との往来制限が要請され続ける中、当初予定をしていた、首都圏での展示商談会への出展事業や当所主催の個別商談会事業の取りやめを余儀なくされた。

これらの需要開拓支援事業に代わり、鹿児島県内での新たな需要を喚起する目的で、鹿児島県商工会議所連合会主催の物産展事業「商工会議所ふるさと物産展」へ令和3年度に引き続き参画し、管内商工業者5社が出展し、自慢の自社商品の販売を行い、側面から出展支援を行った。

また、鹿屋市ではアフターコロナを見据えた新たな事業展開を目指す事業所を支援する目的で「鹿屋市中小企業等経営効率化支援金」事業が開始。管内小規模事業者62社が採択を受け、事業計画・経営計画の作成支援を行った。

■評価について（質疑・ご意見）

◎第3回 経営発達支援計画に基づく伴走型支援事業に係る評価委員会

・日 時 令和7年9月24日（水）10：00 ～ 11：00

・場 所 鹿屋商工会議所1階会議室

・出席者 計10名（事務局5名含む）

→ 委員5名

委員長 宇都健三郎 氏〔鹿屋商工会議所 副会頭〕

委 員 風呂井 誠 氏〔風呂井誠公認会計士事務所 所長（税理士／会計士）〕

委 員 横山 尚隆 氏〔㈱日本政策金融公庫鹿屋支店 副事業統括〕

委 員 前田 和信 氏〔鹿屋市 農林商工部 商工振興課長〕

委 員 岩元 伸二 氏〔鹿屋商工会議所 専務理事〕

・評価対象 令和6年度、令和5年度、令和4年度 各事業

・委員より出された主な意見等

※ 経営支援基幹システム「BIZミル」の活用について

（ご意見）同システムについて、現在、事業計画の策定事業所や決算代行事業所を中心に活用されているとの事であるが、フィードバックの質の向上と、さらに多くの事業所の方への「経営状況分析表」の提供に努めてほしい。

※ 講習会の参加者数について

（ご質問）参加者数が少ないのでは？との質問あり。参加者を増やす工夫など行っているか。

（事務局）資料へ提示している数値は、小規模事業者のみを抜粋したものであり、小規模事業者以外を含めると、大凡 10 名弱の参加を頂いていると回答。今後は、参加者が参加しやすいような時間帯での開催や、タイトルを柔らかい表現にして、セミナーが受講しやすいように間口を広げる取り組みを検討。

（ご意見）セミナーについては、経営者の意識改革も必要だと思う。従業員に参加させる経営者も居るが、それを経営者や従業員にフィードバックできているのか疑問。まずは、経営者が受講して、従業員等にフィードバックできるよう、受講者の掘り起こしやセミナータイトル（内容）も工夫を行って欲しい。

※ 商談会へ参加している事業者について

（ご質問）参加している事業者は同じところが多いのか？との質問あり。

（事務局）アグリフード EXP0 東京については、ここ 2 年は同じ事業者が出展していると回答。また、当所主催の個別商談会についても、概ね同じ事

業者が連続して参加している状況と回答。

連続での参加事業者が多い背景には、普段なかなか得られない商談機会が得られる事への満足度が高い点や、県外バイヤーとの接点（商談機会）が得られる点が挙げられる。

今後は、これまで商談会へ多く参加されている事業所は、専門家派遣制度を活用した新商品開発や、新商品開発を柱とした補助金申請などの支援、また、新規参加（出展者）の掘り起こしも行い、大隅地域の魅力溢れる商品が、県内ではもちろん、県外でより多く流通できるようフォローアップを行っていく。